

2007年	協会の動き	関連団体の動き	社会の動き
8.22	SS級 (=AAA級) 認定眼鏡士学科試験 / 東京、愛知、大阪、岡山、滋賀で開催、139名受験		
8.28 ~ 9.10	SS級 (=AAA級) 認定眼鏡士実技試験 / 東京、愛知、大阪、岡山で開催、229名受験		8.28 安倍改造内閣発足
9.5 ~ 9.6	SSS級認定眼鏡士試験 / キクチ眼鏡専門学校、東京眼鏡専門学校、静岡県支部で開催、32名受験	9.7 眼鏡公正取引協議会が原産国表示を完全施行	
9.11	SSS級認定眼鏡士試験合否判定会議 / 全7科目合格2名 (累計8名)	9.7 日本眼鏡関連団体協議会第44回幹事会	9.12 安倍首相が辞任表明
9.25	SS級 (=AAA級) 認定眼鏡士試験合否判定会議 / 学科試験全5科目合格41名、実技試験全3科目合格81名、学科・実技全8科目合格75名		9.14 月探査衛星かぐや打ち上げ
10.1 ~ 10.9	第16回 APOC (アジア太平洋オプトメトリー大会) : インド / 金井国際部長出席		9.26 福田内閣発足
10.4	第1回 ISO 東京国際会議実行委員会 / 木方教育部長出席		9.30 日本郵政公社解散
10.17	理事会 : ニューオーサカホテル / 平成19年度上期の事業報告・収支決算を承認。また新潟県中越沖地震の被害状況と見舞金について報告。A級認定眼鏡士登録の取組、平成20年度の認定眼鏡士PRを協議		
10.17	第14回眼鏡技術者・認定資格制定委員会		
10.31	ISO 東京国際会議ウエルカムレセプション / 木方教育部長出席		
12.12	講師会 / 教育事業結果報告、次年度生涯教育・実技講習会テーマの検討	11.26 日本眼鏡関連団体協議会第45回幹事会	12月~1月 中国の天洋食品が製造した冷凍ギョーザで中毒
2008年			
2.6	理事会 : ニューオーサカホテル / 第6回代議員会議案の平成20年度事業計画案・収支予算案、認定眼鏡士PRについて協議。また認定眼鏡士登録更新状況、平成20年度生涯教育講習会の計画、部会の開催を報告したほか認定眼鏡士PR費用引当金規程案を承認		1.11 新テロ対策特別措置法案が可決成立
3.5	第6回代議員会 / 平成20年度事業計画案・収支予算案を可決。平成20年度認定眼鏡士PRはラジオCMによる全国統一案で決定。認定眼鏡士登録更新状況20年度生涯教育講習会について報告部会 / 代議員会に先立ち、各部会を開き、活動内容を協議、協会運営全般についても意見交換		2.25 韓国第17代大統領に李明博氏
	各ブロック会議 / 6.27 東京・関東、7.10 東北、8.21 中国、10.24 北陸、11.13 九州、11.20 東海、2.12 近畿、3.11 四国、3.21 北海道		3.10 中国チベット自治区で大規模暴動
4.11 ~ 4.14	WCO (世界オプトメトリー会議)、第2回オプトメトリー・グローバルゼーション世界会議、年次WCO委員会・執行部会議 : イギリス / 金井国際部長出席	4.17 新団体「日本眼鏡販売店連合会」設立	3.19、23 JR常盤線荒川沖駅の構内で無差別殺傷、1人死亡、2人重傷
5.7	理事会 : ニューオーサカホテル / 第43回通常総会議案の平成19年度事業報告・収支決算、理事・監事選任を承認。第6回代議員会議決事項、認定眼鏡士PRのラジオCMの内容、眼鏡学ハンドブックの作成について報告	4.17 全日本眼鏡小売商組合連合会、解散。新団体「日眼連」へ移行	4.1 後期高齢者医療制度スタート
6.18	第43回通常総会 : 新大阪ワシントンホテルプラザ / 平成19年度事業報告・収支決算。理事・監事選任は審議の結果、津田節哉氏を重任。また第6回代議員会議決事項を報告。引き続き、講演会を開催「スペシャルオリンピックスオープニングアイズについて」津本格氏 : キクチ眼鏡専門学校、「視野と視野計測器機について」中島雄三氏 : 日本眼鏡技術専門学校卒業生	4.25 日本眼鏡関連団体協議会第46回幹事会	5.12 中国・四川省でM8.0の地震。死者約7万人
		5.22 第12回日本眼鏡学会総会・年次セミナー : 愛知県・キクチ眼鏡専門学校	6.8 秋葉原で無差別殺傷事件、7人が死亡
			6.14 岩手・宮城内陸地震、最大震度6強

2008年	協会の動き	関連団体の動き	社会の動き
7.1～3.31	生涯教育、実技講習会、その他認定講習会／受講者総数 7,054 名		
7.2	第 1 回資格制度推進準備委員会		
7.10	眼鏡の販売に関して国会の委員会で質問された階猛議員と面談	7.11 日本眼鏡関連団体協議会第 47 回幹事会	7.11 原油が 1 バレル = 147 ドル、史上最高値
7.24	第 2 回資格制度推進準備委員会		
7.30～8.14	SSS 級認定眼鏡士試験のための講習会／キクチ眼鏡専門学校、東京眼鏡専門学校、静岡県支部で開催、31 名受験		8.8～24 第 27 回北京オリンピック開催
8.20	SS 級 (=AAA 級) 認定眼鏡士学科試験／東京、愛知、大阪、岡山で開催、156 名受験	9.5 日本眼鏡関連団体協議会第 48 回幹事会	
8.28～9.5	SS 級 (=AAA 級) 認定眼鏡士実技試験／東京、愛知、大阪、岡山で開催、178 名	9.12 日本眼鏡関連団体協議会・JIS 原案作成委員会 (眼鏡レンズ、眼屈折計)	9.1 福田首相退陣表明
9.3～9.4	SSS 級認定眼鏡士試験／キクチ眼鏡専門学校、東京眼鏡専門学校、静岡県支部で開催、30 名受験		
9.4	第 1 回資格制度推進委員会	9.24 民主党の階猛衆議院議員は 5 月 28 日の衆議院経済産業委員会で虚偽メガネの話題を取り上げ、9 月の臨時国会で「眼鏡の販売方法に関する質問主意書」を提出、これを受けて麻生総理が答弁書で答えた。質問主意書では、眼鏡販売に規制がないこと、視力検査行為、検眼機使用の実態などについて答えを求め、「人体に害をおよぼすおそれがほとんどない視力検査であれば、医師等の資格を持たない者であっても視力検査を行なうことができる」などと答えたが、医師法違反の可能性については明言を避けた	9.15 リーマン・ブラザーズが経営破綻
9.9	SSS 級認定眼鏡士試験合否判定会議／科目合格 11 名		
9.26	SS 級 (=AAA 級) 認定眼鏡士試験合否判定会議／学科試験全 5 科目合格 41 名、実技試験全 3 科目合格 55 名、学科・実技全 8 科目合格 40 名		9.24 麻生内閣発足
9.26	第 3 回資格制度推進準備委員会		
10.21	辻戦三法制部部長が薬事功労者厚生労働大臣表彰受賞		10.7 ノーベル物理学賞に小林誠氏、益川敏英氏、南部陽一郎氏。化学賞に下村脩氏
10.22	理事会：ニューオーサカホテル／平成 20 年度上期事業報告・収支決算を承認。また監事の補充、平成 21 年度認定眼鏡士 PR、薬事功労者の厚生労働大臣表彰受賞者などを報告		
10.22	第 4 回資格制度推進準備委員会		
10.22	第 15 回眼鏡技術者・認定資格制定委員会	11 月 福井県眼鏡協会の東京シヨールーム・GLASS GALLERY291 オープン	
11.18	第 2 回資格制度推進委員会		
12.10	講師会／教育事業結果報告、次年度生涯教育・実技講習会テーマの検討	11.21 日本眼鏡関連団体協議会第 49 回幹事会	11.17～18 元厚生事務次官宅襲撃。3 人が死傷
2009年			
2.4	理事会：ニューオーサカホテル／第 7 回代議員会に提案する平成 21 年度事業計画案・収支予算案、監事 1 名選任について承認。支部剰余金の処分、認定眼鏡士登録更新状況、平成 21 年度生涯教育・実技講習会・認定眼鏡士 PR について報告		1.5 株券電子化スタート
2.4	第 5 回資格制度推進準備委員会		1.20 第 44 代米大統領にバラク・オバマ氏が就任、米史上初の黒人大統領
3.11	第 7 回代議員会：新大阪ワシントンホテルプラザ／平成 21 年度事業計画案・収支予算案、監事 1 名選任を可決。支部剰余金の処分、認定眼鏡士登録更新状況、平成 21 年度生涯教育講習会・認定眼鏡士 PR について報告 部会／代議員会に先立ち各部会を開き、活動内容を協議、協会運営全般についても意見交換		4.5 北朝鮮が弾道ミサイル・テポドン 2 を発射、日本上空を横断
3.16	第 3 回資格制度推進委員会		
	各ブロック会議／6.23 東京・関東、7.8 東北、8.28 中国、10.7 東海、10.28 北陸、11.25 九州、2.10 近畿、2.20 四国、3.25 北海道		4.8 三菱 UFJ 証券のシステム部長代理が約 150 万人分の顧客情報持ち出し公表

2009年	協会の動き	関連団体の動き	社会の動き
5.7	理事会：ニューオーサカホテル／第44回通常総会議案の平成20年度事業報告・収支決算、眼鏡の通信販売・ネット販売について討議。また第7回代議員会議決事項、認定眼鏡士PRについて報告	4.24 日本眼鏡関連団体協議会第50回幹事会	5.7 新光証券とみずほ証券が合併
5.7	第6回資格制度推進準備委員会	5.13 第13回日本眼鏡学会総会・年次セミナー：岡山県・ワールドオプティカルカレッジ	5.11 小沢一郎氏が民主党代表を辞任表明。後任に鳩山由紀夫氏
5月	金井昭雄副会長が緑綬褒章を受章		5.21 裁判員制度スタート
6.4～6.8	WCO(世界オプトメトリー会議)一般代表者会議：マレーシア／金井国際部長出席		5.29 森光子さんに国民栄誉賞決定
6.17	第44回通常総会：八重洲富士屋ホテル／平成20年度事業報告・収支決算、眼鏡の通信販売・ネット販売について協議、可決。また第7回代議員会議決事項を報告。講演会を開催。「今なぜ国家資格なのか」早稲田大学名誉教授：大頭仁、「これでいいのか、21世紀」フリージャーナリスト：伊波新之助	6.25 日本眼鏡販売店連合会、第1期通常総会	6.1 ゼネラルモーターズが経営破綻
6.17	第7回資格制度推進準備委員会		
7.1～3.31	生涯教育、実技講習会、その他認定講習会／受講者総数7,054名	7.10 日本眼鏡関連団体協議会第51回幹事会	
7.8	第4回資格制度推進委員会		
8.4～8.13	SSS級認定眼鏡士試験のための講習会／キクチ眼鏡専門学校、東京眼鏡専門学校で開催、13人		8.30 第45回衆議院選挙、民主党圧勝
8.19	SS級(=AAA級)認定眼鏡士学科試験／東京、愛知、大阪、岡山で開催、139名受験		
8.25～9.7	SS級(=AAA級)認定眼鏡士実技試験／東京、愛知、大阪、岡山で開催、145名受験	9.1 日本眼鏡関連団体協議会PL委員会	
9.2～9.3	SSS級認定眼鏡士試験／キクチ眼鏡専門学校、東京眼鏡専門学校で開催、18名受験	9.6～21 福井県眼鏡協会、福井県眼鏡工業組合など主催のFUKUIめがねウィーク	
9.9	SSS級認定眼鏡士試験合否判定会議／合格科目・人数延べ25科目・13名受験	9.11 日本眼鏡関連団体協議会第52回幹事会	9.16 鳩山内閣発足
9.24	SS級(=AAA級)認定眼鏡士試験合否判定会議／学科試験全5科目合格54名、実技試験全3科目合格39名、学科・実技全8科目合格32名		
10.8	資格制度推進正副委員長会議		
10.21	理事会：ニューオーサカホテル／平成21年度上期の事業報告・収支決算、公益社団法人への移行、眼鏡の通信・ネット販売、消費者アンケート、台風災害、資格制定推進委員会、認定眼鏡士PR方法などの報告		11.5 ヤンキースの松井秀喜選手、日本選手初のシリーズMVP獲得
10.21	第8回資格制度推進準備委員会		
11.3～11.8	第17回APOC(アジア太平洋オプトメトリー大会)：香港／金井国際部長出席	11.24 日本眼鏡関連団体協議会第53回幹事会・第14回総会	11.24 ファミリーマートがエーエム・ピーエム・ジャパンを120億円で買収
11月	白山晰也顧問が旭日小授章 福田昭二群馬県支部長が旭日双光章を受章		
12.9	講師会／教育事業結果報告、次年度生涯教育・実技講習会テーマの検討		12.9 スズキとフォルクスワーゲンが業務資本提携で合意。世界最大の自動車グループに
12.10	資格制度推進正副委員長会議		
2010年			
2.3	理事会：ニューオーサカホテル／第8回代議員会議案の平成22年度事業計画案・収支予算案、認定眼鏡士PRについて承認。公益社団法人への移行、眼鏡の通信販売について報告		1.4 ドバイに世界一の高層ビル完成。高さ828メートル
2.3	第17回認定資格制定委員会		1.19 JAL会社更生法を申請し受理

2010年	協会の動き	関連団体の動き	社会の動き
2.22	第9回資格制度推進準備委員会		1月 民主党小沢一郎幹事長の政治資金偽装問題
3.10	第8回代議員会：名古屋・東京第一ホテル錦／平成22年度事業計画案・収支予算案を可決。公益社団法人への移行、認定眼鏡士登録更新状況、平成22年度生涯教育・実技講習会計画、平成22年度認定眼鏡士PR事業、各部会の検討内容を報告部会／代議員会に先立ち、各部会を開き、活動内容を協議、協会運営全般についても意見交換		2.12～28第21回バンクーバーオリンピック開催 2.27 チリで M8.8 の地震
3.15	第5回資格制度推進委員会	3.20 福井県眼鏡協会は鯖江市のめがね会館内をリニューアルし、めがねミュージアムをオープン	3.18 ワシントン条約締結会議で、大西洋産クロマグロの禁輸案を否決
各ブロック会議／6.29 東京・関東、7.14 東北、8.27 中国、11.4 東海、11.18 北陸、11.26 九州、2.10 近畿、2.23 四国、3.24 北海道			
4.1～6.30	「眼鏡に関する消費者アンケート」の実施 理事会：ニューオーサカホテル／第45回通常総会議案の平成21年度事業報告・収支決算、定款の変更案、理事・監事選任について承認。また第8回代議員会議決事項を承認。「認定眼鏡士制度」ガイドラインの改正、眼鏡技術者の技能検定、支部別代議員数の見直し、眼鏡の通信販売・ネット販売について報告	4.21 日本眼鏡関連団体協議会第54回幹事会	4.5 山崎直子さん、ディスカバリー号で宇宙へ
5.7	第45回通常総会／平成21年度事業報告・収支決算、定款の変更案、理事・監事選任は理事の互選により会長に津田節哉氏を重任。また第8回代議員会議決事項を報告。引き続き、講演会を開催。「人工角膜の実現」日本眼鏡技術専門学校卒業生：春城祥子氏、「光学式および実測式深視力計の検査成績の違いについて」ワールドオプティカルカレッジ卒業生：八木千明氏	5.12 第14回日本眼鏡学会総会・年次セミナー：石川県・KKRホテル金沢	4.10 ポーランドのカチンスキ大統領夫妻らを乗せた大統領機が墜落、96人死亡 4月ギリシャ財政危機問題、世界同時株安
6.16	モンゴル国眼鏡技術研修／特定非営利法人 AMDA モンゴル国医療奉仕団 2010 の一環で内田豪氏（教育部講師）参加	6.23 日本眼鏡販売店連合会第2期通常総会	5.21 金星探査機・あかつきを載せた H II A 打ち上げ成功 6.2 鳩山首相が辞任表明 6.8 菅内閣発足
6.23～7.1	生涯教育、実技講習会、その他認定講習会／受講者総数 6,939 名	7.1 全日本時計宝飾眼鏡小売協同組合が設立総会	6.13 小惑星探査機・はやぶさが小惑星イトカワから帰還
8.3～8.12	SSS 級認定眼鏡士試験のための講習会／キクチ眼鏡専門学校、東京眼鏡専門学校で開催、14 名受験	7.12 眼鏡公正取引協議会総会	7.11 第22回参議院議員選挙、民主党大敗 7.31 ビキニ環礁が世界遺産に
8.18	SS 級認定眼鏡士学科試験／東京、愛知、大阪、岡山、滋賀で開催、118 名受験	7.13 日本眼鏡関連団体協議会第55回幹事会	8.5 チリ北部サンホセ鉱山で落盤事故。10月13日に全員救出
8.24～8.31	SS 級認定眼鏡士実技試験／東京、愛知、大阪、岡山、滋賀で開催、135 名受験		8月 15年ぶりの円高、一時1ドル82円台
9.1～9.2	SSS 級認定眼鏡士試験／東京眼鏡専門学校、キクチ眼鏡専門学校で開催、21 名受験		9.7 モントリオール世界映画祭で深津絵里さんが映画「悪人」で最優秀女優賞
9.7	SSS 級認定眼鏡士試験合否判定会議／科目合格14名、全7科目合格3名（累計13名）		9.17 菅改造内閣が発足
9.10～3.31	内閣府に公益社団法人への移行認定申請書を提出。その後、内閣府の指導に基づき申請書類の訂正版を数度にわたり提出。23年3月14日、2月9日開催の臨時総会議事録、代議員選挙の結果、3月11日確定。代議員氏名一覧表の提出をもって事前審査完了。3月18日公益認定等委員会で審査の結果、3月25日に内閣総理大臣に対して「公益社団法人に関する法律に規定する認定の基準に適合すると認めるのが相当」と答申。3月30日に認定書を受領し、4月1日付で移行登記手続		9月 中国の漁船が尖閣諸島海域で操業
9.19～9.26	WCOE6（第6回世界オプトメトリー教育会議）：南アフリカ・ダーバン／関国際部副部長出席		
9.21	SS 級認定眼鏡士試験合否判定会議／学科試験全5科目合格76名、実技試験全3科目合格53名、学科・実技全8科目合格39名		

2010年	協会の動き	関連団体の動き	社会の動き
9.22	第 6 回資格制度推進委員会		
9.27～ 9.30	ISO 国際会議：米国・ラスベガス／WG3 委員として林国際部員出席		10.4 小沢一郎民主党元代表の政治資金規正法違反事件で強制起訴が決定
10.27	理事会：ニューオーサカホテル／平成 22 年度上期の事業報告・決算報告について承認。また業務分担と特別委員会の設置（消費者委員会）、眼鏡技術者の資格制度推進委員会のその後の動向、公益社団法人への移行認定申請の状況、臨時総会・代議員会の開催、定款変更案、役員報酬および費用に関する規程改正案等の規程類の改正、眼鏡の通信販売・ネット販売について協議し、承認	10.8 日本眼鏡関連団体協議会第 56 回幹事会	10.6 鈴木章、根岸英一両氏にノーベル化学賞
12.8	講師会／教育事業結果報告、次年度生涯教育・実技講習会テーマの検討	11.24 日本眼鏡関連団体協議会第 57 回幹事会・第 15 回総会	12.4 東北新幹線全線開通
12.20	資格制度推進委員会正副委員長会議		
2011年			
2.4	厚生労働省立入検査。特段の問題点なし		1.14 菅再改造内閣（第2次改造）発足
2.9	第 9 回代議員会：ニューオーサカホテル／平成 23 年度事業計画案・収支予算案を審議の結果、可決。報告事項として、平成 23 年度生涯教育、代議員選挙について報告		1.26 九州南部の霧島連山の新燃岳が噴火
2.9	理事会／臨時総会、代議員会に先立ち臨時総会議案一部訂正、代議員会に提案する平成 23 年度事業計画・収支予算案、認定眼鏡士 PR 費用引当金規程廃止、日本眼鏡士連盟設立について承認。また 23 年度「10 月 1 日メガネの日」の認知促進、眼鏡技術者の法制化運動に関するポスター等について報告		1.29 サッカー・アジアカップで日本が優勝
2.9	臨時総会／定款変更案、役員報酬等および費用に関する規程の改正案、入会および会費規程改正案、代議員等選任規程案、「公益社団法人への移行認定申請に係わる軽微な変更は会長に一任する」ことについて可決 臨時理事会／同日開催の臨時総会での「代議員等選任規程」の承認を受けて開催		1.31 北陸の大雪で車 800 台立ち往生、JR も運休
2.9	第 1 回選挙管理委員会／代議員選挙日程の確認		2.6 八百長問題で大相撲春場所中止
2.24	第 2 回選挙管理委員会／①定数の届出の 29 支部 72 人について当選を確定②定数を超えて届出の 1 支部は郵便による投票用紙を作成し 2 月 28 日発送、3 月 10 日締切を確認 ③定数に未達の 17 支部については 3 月 10 日までに支部代議員の推薦を支部選挙管理委員会に依頼することを確認		2.11 エジプトのムバラク大統領辞任、独裁 30 年
3.11	第 3 回選挙管理委員会／①投票を行った 1 支部の開票、獲得数上位 4 人（定数）の当選を確定 ②支部選挙管理委員会に推薦を依頼した 17 支部 34 人について推薦人名簿により当選を確定 ③既に第 2 回委員会で当選確定の 29 支部 72 人と合わせ、全 47 支部 110 人の代議員の確定を受け、津田会長に代議員名簿を提出	3.11 日本眼鏡士連盟発足	2.14 中国が GDP 世界第 2 位。日本は 43 年ぶりに 2 位から脱落
3.28	東日本大震災で被災の眼鏡販売店ならびに眼鏡技術者への義援金募集を開始		2.22 ニュージーランド南部で M 6.3 の地震
3.31	義援金募集開始について、全支部長にお知らせを送付		3.11 東日本大震災。三陸沖でマグニチュード 9.0、最大震度 7。大津波により多くの沿岸地域が壊滅。死者の 9 割は津波。一方、都心では液状化が発生、交通機関は約丸一日間麻痺
	各ブロック会議／ 6.30 東京・関東、7.16 東北、8.27 中国、10.26 東海、11.17 北陸、11.25 九州、2.23 四国、3.2 近畿、3.28 北海道		3.12 長野県北部地震（M6.7）長野県北部で震度 6 強、新潟中越で震度 6 弱
			3.12 福島第一原発 1 号炉で水素爆発。同 14 日には 3 号炉も
			3.12 九州新幹線が全線開業
			3.14 福島第一原子力発電所 2 号炉で日本で初の炉心溶融が発生
			3.14 関東などで計画停電開始
			3.15 東海地方で M6.4 の地震、富士宮で震度 6 強

2011年	協会の動き	関連団体の動き	社会の動き
4.7	東日本大震災対応／東日本大震災被災地域（青森、岩手、宮城、福島、茨城、千葉）の会員に対して被災状況調査アンケートを送付		4月頃 焼肉酒家えびすのユッケから病原性大腸菌 O111。5人死亡
4.15	内閣府および厚生労働省に対して「移行登記完了届出書」を提出		
5.6	理事会：ニューオーサカホテル／第1回通常総会議案の平成22年度事業報告・収支決算を承認。また日本眼鏡士連盟の設立、眼鏡技術者国家資格推進機構、東日本大震災について報告	4.20 日本眼鏡関連団体協議会第58回幹事会	5.1 米軍特殊部隊がアルカイダの最高指導者ビンラディン容疑者を殺害
6.13～6.18	モンゴル国眼鏡技術研修／AMDAモンゴル国医療奉仕団2011の一環で内田豪氏（教育部講師）参加	5.19 第15回日本眼鏡学会総会・年次セミナー：神奈川大学横浜キャンパス	6.8 古川聡宇宙飛行士が搭乗するロシアの宇宙船・ソユーズ打ち上げ成功
6.15	第1回通常総会：名古屋・東京第一ホテル錦／公益社団法人へ移行後初。平成22年度事業報告・収支決算を審議し可決。また第9回代議員会議決事項、平成23年度認定眼鏡士PR、東日本大震災支援活動について報告。引き続き、講演会を開催。「手持ちルーペを使う時の倍率」東京眼鏡専門学校卒業生：河田耕一氏、「眼球運動トレーニングと眼と手の協応性の関係」キクチ眼鏡専門学校卒業生：近藤康弘氏	6.9 眼鏡技術者国家資格推進機構準備委員会	
6.29～3.31	生涯教育、実技講習会、その他認定講習会の開催／受講者総数6,499名	6.23 日本眼鏡販売店連合会第3期通常総会	7.17 サッカーの女子ワールドカップドイツ大会でなでしこジャパンが優勝
7.22～3.30	東日本大震災対応／義援金1,886,370円に当協会からの拠出金2,153,630円を加えた見舞金を被災者（自宅被害の会員）に支給。対象者187名、支給総額404万円	7.13 眼鏡技術者国家資格推進機構設立発起人会	7.24 テレビ放送がアナログ放送から地上デジタル放送に完全移行（岩手、宮城、福島3県を除く）
8.2～8.11	SSS級認定眼鏡士試験のための講習会／キクチ眼鏡専門学校、東京眼鏡専門学校、静岡県支部で開催、30名受験	7.13 日本眼鏡関連団体協議会第59回幹事会	
8.10	内閣府に理事変更届けを提出（理事1名辞任）		
8.24	SS級認定眼鏡士学科試験／東京、愛知、大阪、岡山、滋賀で開催、124名受験		8.30 菅内閣総辞職
8.29～9.1	SS級認定眼鏡士実技試験／東京、愛知、大阪、岡山、滋賀で開催、134名受験	9.9 日本眼鏡関連団体協議会第60回幹事会	
9.7～9.8	SSS級認定眼鏡士試験／キクチ眼鏡専門学校、東京眼鏡専門学校で開催、17名受験		
9.13	SSS級認定眼鏡士試験合否判定会議／科目合格14名、全7目合格3名（累計16名）	10.11 「眼鏡学ハンドブック」発行。編さんは日本眼鏡学会、日本眼鏡技術者協会、全国眼鏡学校協会	
9.21	SS級認定眼鏡士試験合否判定会議／学科全5科目合格数38名、実技全3科目合格56名、学科・実技全8科目合格36名	10.13 眼鏡技術者国家資格推進機構設立総会	
10.26	理事会：ニューオーサカホテル／平成23年度上期の事業報告・収支決算、理事1名辞任、東日本大震災・台風12号被災会員への見舞金支給、眼鏡技術者の国家資格推進、PR事業、会員証の改定、会費未納者への督促について報告、了承	11.22 眼鏡技術者国家資格推進機構第1回幹事会	
11月	大頭仁制定委員長が瑞宝中授章を受章		
11.22～11.27	APOC（アジア太平洋オプトメトリー大会）：シンガポール／金井国際部長出席	11.22 日本眼鏡関連団体協議会第61回幹事会・第16回総会	
12.7	講師会／教育事業結果報告、次年度生涯教育・実技講習会テーマの検討		
2012年			
3.7	理事会：ニューオーサカホテル／平成24年度事業計画・収支予算、生涯教育、諸規定制定、東日本大震災被災者からの連絡と対応など一部訂正を含め承認。また公益社団法人における政策・方針決定過程への女性の参画の拡大、眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動きなど報告		

2012年	協会の動き	関連団体の動き	社会の動き
3.12～ 3.16	ISO 国際会議：イタリア／林国際部員出席	2.22 眼鏡技術者国家資格推進機構第1回正副代表幹事会	2.2 東京証券取引所でシステム障害 241 銘柄の取引が一時停止
3.29	内閣府理事変更届けを提出（理事1名死去）	3.8 眼鏡技術者国家資格推進機構は民主党本部ならびに厚生労働省に対して要望書を提出	2月頃まで日本海側を中心に豪雪、死者は100人以上
各ブロック会議／6.29 東京・関東、7.15 東北、8.26 中国、10.28 九州、11.8 東海、12.8 北陸、2.1 近畿、3.21 四国、3.28 北海道		4.26 眼鏡技術者国家資格推進機構第2回幹事会	2.4 ローザンヌ国際バレエコンクールで高校2年生の菅井円加さんが1位
5.9	理事会：ニューオーサカホテル／第2回通常総会議案の平成23年度事業報告・収支決算、平成24年度事業計画・収支予算、理事・監事選任について承認	4.26 日本眼鏡関連団体協議会第62回幹事会	4.12 京都・祇園で運転手の発作による暴走事故、運転手含め8人が死亡
5.10	第1回選挙管理委員会／平成24・25年度理事・監事候補者、選挙日程の確認	5.16 第16回日本眼鏡学会総会・年次セミナー：東京都・日本青年館	5.5 北海道の泊発電所運転停止。日本の全原発が稼働停止
6.18	第2回選挙管理委員会／理事・監事選挙投票用紙の開票		5.21 日本の広い範囲で金環食を観測
6.20	第2回通常総会：新大阪ワシントンホテルプラザ／平成23年度事業報告・収支決算、平成24年度事業計画・収支予算、理事・監事選任では互選により会長に津田節哉氏を重任。引き続き、講演会を開催。「レンズ後面における紫外線反射」生奥翔太郎氏：日本眼鏡技術専門学校卒業生、「測定法の違いによる調節ラグの比較」山内朋子氏：ワールドオプティカルカレッジ卒業生 なお、総会終了後同所で「故福田名誉会長お別れの会」を開く	6.22 日本眼鏡販売店連合会第4期通常総会	6月 オウム真理教元幹部の菊地直子容疑者・高橋克也容疑者を相次いで逮捕
6.22～ 6.30	WCO（世界オプトメトリー大会）：米国・シカゴ／関国際部副部長出席	7.2 眼鏡公正取引協議会、通常総会。チタンの表示改定案を作成	7.1 牛の生レバーの販売・提供を食品衛生法で禁止
7.3～ 3.31	生涯教育、実技講習会、その他認定講習会／受講者総数 10,131 名	7.19 日本眼鏡関連団体協議会第63回幹事会	7.1～14九州北部で「経験したことのない大雨」。20人以上が死亡
7.31～ 8.3	SSS 級認定眼鏡士試験のための講習会／キクチ眼鏡専門学校、静岡県支部で開催、14名受講	7.26 眼鏡技術者国家資格推進機構第2回正副代表幹事会	7.2 小沢一郎氏ら 50 人が離党、民主党分裂
8.22	SS 級認定眼鏡士学科試験／東京、愛知、大阪、岡山、滋賀で開催、136名受験		7.4 物の質量の起源・ヒッグス粒子を発見
8.27～ 8.31	SS 級認定眼鏡士実技試験／東京、愛知、大阪、岡山、滋賀で開催、125名受験		7.27～8.12 ロンドンオリンピック。メダル 38 個は過去最多
9.4～ 9.5	SSS 級認定眼鏡士試験／東京眼鏡専門学校、キクチ眼鏡専門学校で開催、32名受験		8.28 国の天然記念物のニホンカワウソ絶滅
9.7	リーフレット改訂版検討会／広報部員アンケート実施		
9.11	SSS 級認定眼鏡士試験合否判定会議／科目合格 17 名、全 7 科目合格なし（累計 16 名）	9.14 日本眼鏡関連団体協議会第 64 回幹事会	9.10 松下忠洋郵政改革・金融担当大臣が自宅で自殺
9.26	SS 級認定眼鏡士試験合否判定会議／学科全 5 科目合格数 40 名、実技全 3 科目合格 37 名、学科・実技全 8 科目合格 28 名		9.11 尖閣諸島を国有化
9.28	リーフレット改訂版検討会／広報部員アンケート実施（第2回）		9.19 日本航空が東証1部に再上場
10.26	理事会：ニューオーサカホテル／平成24年度上期の事業報告・決算報告、諸規定・規則の改正（代議員等選任細則、就業規則、職員給与規程、会計処理規則、事務処理規則、公印規則）、平成25年3月の代議員等選挙、支部別代議員定数の見直しと選挙の公示内容、顧問・相談役の委嘱について承認。また平成24年度PR事業、眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動向、会員組織部からの提案など報告	10.23 眼鏡技術者国家資格推進機構正副代表幹事会	10.8 山中伸弥教授が iPS 細胞でノーベル生理学・医学賞決定
			11.6 米大統領選挙でオバマ大統領が再選

2012年	協会の動き	関連団体の動き	社会の動き
12.5	第1回組織活性化特別委員会／課題、アンケート内容など検討	11.28 眼鏡技術者国家資格推進機構第3回幹事会、第1回通常総会。白山氏逝去に伴い津田氏が代表幹事就任	12.2 中央自動車道笹子トンネルで吊り天井落下事故、9人死亡
12.12	講師会／教育事業結果報告、次年度生涯教育・実技講習会テーマの検討		12.16 第46回衆議院議員総選挙、自民党圧勝
12.20	第3回選挙管理委員会／平成25・26年度代議員選挙公示内容の確認	11.28 日本眼鏡関連団体協議会第65回幹事会第17回総会	12.26 第二次安倍内閣発足
2013年			
2.4	第4回選挙管理委員会／代議員および補欠の代議員の立候補者氏名の確認、定数を超えた1支部について投票用紙の確認、定数に満たない支部に対する支部代議員推薦依頼状を確認	1.16 眼鏡技術者国家資格推進機構代表幹事・代行・幹部会	1.16 アルジェリアの天然ガス施設がイスラム武装勢力によって襲撃され、日本人10人を含む人質40人が死亡
3.4	第5回選挙管理委員会／投票用紙の開票、支部から推薦された代議員・補欠の代議員名簿確認により、代議員110名、補欠の代議員47名を確定		2.15 ウラル地方チェリャビンスク州で隕石落下、爆風などで1000人以上が負傷
3.6	理事会：ニューオーサカホテル／平成25年度事業計画・収支予算を承認、また平成25・26年度支部代議員等選挙結果、平成25年度生涯教育、眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動向、平成25年度PR事業、「認定眼鏡士」の商標登録について報告		3.6 赤字転落のシャープがサムスンとの資本提携を発表
3.6	第2回組織活性化特別委員会／アンケート結果の分析と今後の進め方を検討		
3.25	「認定眼鏡士」の商標登録申請を出願		3.15 安倍首相が日本のTPP交渉参加を表明
各ブロック会議／6.27 東京・関東、7.10 東北、8.21 中国、10.18 九州、10.30 北陸、11.6 東海、2.6 北海道、2.20 近畿、3.13 四国			
4.17～4.22	WCO（世界オプトメトリー大会）：スペイン・マラガ／金井国際部長出席	4.23 日本眼鏡関連団体協議会第66回幹事会	4.15 ボストンマラソンのゴール地点でテロリストによる爆発が2回、3人死亡
5.8	理事会：ニューオーサカホテル／第3回通常総会議案の平成24年度事業報告・収支決算、平成25年度事業計画・収支予算、公益事業区分の統合化について承認	4.23 眼鏡技術者国家資格推進機構第4回幹事会	5.5 長嶋茂雄氏と松井秀喜氏が国民栄誉賞
5.27	第3回組織活性化特別委員会／基本構想、青年部・女性部設置の問題点、現状で可能なことなど検討	5.22 第17回日本眼鏡学会総会・年次セミナー：愛知県・キクチ眼鏡専門学校	
6.19	第3回通常総会：八重洲富士屋ホテル／平成24年度事業・収支決算報告、平成25年度事業計画・収支予算、公益事業区分の統合化を可決。引き続き講演会を開催。「経線不等像視の理論的検証」キクチ眼鏡専門学校卒業生：木田陽祐氏、「眼鏡技術者に望むこと」東京眼鏡専門学校非常勤講師：内田豪氏	5.24 福井県眼鏡工業組合、創立50周年式典	6.22 富士山が世界遺産に登録
7.2～3.31	生涯教育・実技講習会、その他認定講習会／受講者総数6,842名	7.8 眼鏡公正取引協議会通常総会	7.21 第23回参議院選挙。民主大敗
7.30～8.2	SSS級認定眼鏡士試験のための講習会／キクチ眼鏡専門学校、静岡県支部で開催、18名受講	7.18 眼鏡技術者国家資格推進機構第5回正副代表幹事会	7.23 ウィリアム王子、キャサリン妃に第1子となる男児が誕生
8.21	SS級認定眼鏡士学科試験実施／東京、愛知、大阪、岡山、滋賀で開催、149名受験	7.18 日本眼鏡関連団体協議会第67回幹事会	
8.27～8.30	SS級認定眼鏡士実技試験／東京、愛知、大阪、岡山、滋賀で開催、131名受験		8.9 国の借金が1000兆円突破
8.30	「認定眼鏡士」が登録商標となる	8.23 眼鏡技術者国家資格推進機構は、国家資格制度の確立と眼鏡店開設に関する許可制の導入について秋葉賢也厚生労働副大臣に要望書を再提出	8.11 東京都心で11日の最低気温が30.4℃、観測史上初めて最低気温が30℃以上
9.3～9.4	SSS級認定眼鏡士試験／東京眼鏡専門学校、キクチ眼鏡専門学校で開催、29名受験		8.12 高知県四万十市で41.0℃を記録、日本観測史上最高記録を更新

2013年	協会の動き	関連団体の動き	社会の動き
9.4	第4回組織活性化特別委員会／青年部・女性部の具体的構想、今後のスケジュール、本年度の課題を検討		9.2 埼玉県で竜巻が発生、埼玉県越谷市から千葉県野田市にかけて移動
9.10	SSS級認定眼鏡士試験合否判定会議／科目合格19名、全7科目合格7名（累計24名）	9.13 日本眼鏡関連団体協議会第68回幹事会	9.7 2020年オリンピックの開催地が東京に決定
9.24	SS級認定眼鏡士試験合否判定会議／学科全5科目合格48名、実技全3科目合格45名、学科・実技全8科目合格44名		9月 JR北海道でレール異常放置など相次ぐ不祥事
10.01～10.4	第19回APOC（アジア太平洋オプトメトリー大会）：韓国・ソウル／金井国際部長出席	10.10 小売4団体交流会（東京眼鏡販売店協組、大阪眼鏡専門小売協組、愛知県眼鏡小売商協組、神奈川県眼鏡協会）、全国眼鏡青年交流会を正式名称に	10.11 東京都心の最高気温が31.3℃、観測史上最も遅い真夏日
10.13～10.19	ISO国際会議：ベルリン／林国際部員出席		
10.22	津田節哉会長が薬事功労者厚生労働大臣表彰	10.17 眼鏡技術者国家資格推進機構正副代表幹事会	12.6 反アパルトヘイト活動のネルソン・マンデラ元大統領死去
10.23	理事会：ニューオーサカホテル／平成25年度上期事業・決算報告、規則類の見直しと一部改正（賃金規程）について承認。また平成25年度PR、眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動き、青年部会・女性部会設置のための動き、コンビニ払込の導入、公益事業区分見直しの進捗状況、国際部、「認定眼鏡士」の商標登録、通信販売による認定眼鏡士登録停止について報告	11.14 日本眼鏡関連団体協議会第69回幹事会・第18回総会	12.18 みんなの党江田幹事長ら議員15人が離党、結いの党
12.11	講師会／教育事業結果報告、次年度生涯教育・実技講習会テーマの検討	11.14 眼鏡技術者国家資格推進機構第5回幹事会、第2回通常総会	12.19 餃子の王将の大東社長が拳銃で撃たれて死亡
2014年			
2.5	第5回組織活性化特別委員会／理事会への提案書の確認、部会設置に関する具体的手順、青年・女性層の意見反映のための方策などを検討		1月 STAP細胞論文発表、後に捏造疑惑
3.5	理事会：ニューオーサカホテル／平成26年度事業計画・収支予算、生涯教育・実技講習、PR事業について承認。また眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動き、組織活性化特別委員会、公益事業区分見直しの進捗状況、国際部よりAPOC、WOCについて報告		2.6 ソニーがPC事業を身売り、VAIOブランドは新会社に移管
各ブロック会議／6.19 東京・関東、7.10 東北、8.28 中国、10.30 九州、11.6 東海、11.20 北陸、1.15 四国、2.19 近畿、3.12 北海道			2.7～23 第22回ソチオリンピック開催
5.7	理事会：ニューオーサカホテル／第4回通常総会議案の平成25年度事業報告・収支決算、平成26年度事業計画・収支予算、理事・監事の選任について承認	4.18 日本眼鏡関連団体協議会第70回幹事会	2.14～16 平成26年豪雪、道路寸断により孤立する地域が続出
5.7	第6回組織活性化特別委員会／青年部・女性部の詳細、フェイスブックの運営・勧誘、セミナーの計画など検討	4.18 眼鏡技術者国家資格推進機構第6回幹事会	4.1 消費税、5%から8%へ
5.9	第1回選挙管理委員会	5月 眼鏡技術者国家資格推進機構特別プロジェクト委員会により「累進眼鏡の使用実態調査」がまとまる	
6.15～6.19	WCO（世界オプトメトリー大会）：モザンビーク・マプト／林国際部員出席	5.14 第18回日本眼鏡学会総会・年次セミナー：滋賀県・近江歓学会館	
6.16	第2回選挙管理委員会	6.10 全国眼鏡青年交流会第4回会合	
6.18	第4回通常総会：新大阪ワシントンホテルプラザ／平成25年度事業・収支決算報告、平成26年度事業計画・収支予算、認定眼鏡士登録規定の改正、理事・監事選任を可決。引き続き講演会を開催。「眼鏡店でできる簡易的な視野検査 一試作と検証」日本眼鏡技術専門学校卒業生：北浦幹士氏、「乱視度数の弱補正と動体視力KVAの関係」ワールドオプティカルカレッジ卒業生：綱井杏之介氏	6.21 眼鏡公正取引協議会、公正取引委員会と消費者庁から規約違反調査手続等関連規則の規約違反調査手続等事務処理規則・細則について承認書受ける。規約違反へより踏み込んだ対応が可能に	
6.18	第7回組織活性化特別委員会／青年部・女性部の基本事項確認、フェイスブックの運営・勧誘を検討		

2014年	協会の動き	関連団体の動き	社会の動き
7.1～ 3.31	生涯教育・実技講習会、その他認定講習会／受講者総数6,164名	6.26 日本眼鏡販売店連合会第6期通常総会	7.1 集団的自衛権行使を容認する閣議決定
7.29～ 8.1	SSS級認定眼鏡士試験のための講習会／キクチ眼鏡専門学校、静岡県支部で開催、18名受講	7.15 日本眼鏡関連団体協議会第71回幹事会	7.9 ベネッセコーポレーションの顧客データ760万件流出
8.20	SS級認定眼鏡士学科試験実施／東京、愛知、大阪、岡山、滋賀で開催、150名受験	7.15 眼鏡技術者国家資格推進機構第8回正副代表幹事会	7月 映画「アナと雪の女王」がヒット
8.25～ 8.29	SS級認定眼鏡士実技試験／東京、愛知、大阪、岡山、滋賀で開催、132名受験		8月 マンガ「妖怪ウォッチ」がヒットし、グッズの売り切れ続出
9.2～ 9.3	SSS級認定眼鏡士試験／東京眼鏡専門学校、キクチ眼鏡専門学校で開催、23名受験		8.20 広島市北部の住宅街で広範な土砂災害
9.8	第8回組織活性化特別委員会／青年部・女性部の未整備部分、部会への要望アンケート、フェイスブックの運営・勧誘、セミナー実施計画などを検討		8～9月 蚊を媒介にしたデング熱の感染者が140人に
9.9	SSS級認定眼鏡士試験合格否判定会議／科目合格11名、全7科目合格1名（累計25名）	9.18 眼鏡技術者国家資格推進機構第9回正副代表幹事会	9.3 第2次安倍改造内閣発足
9.26	SS級認定眼鏡士試験合格否判定会議／学科全5科目合格72名、実技全3科目合格63名、学科・実技全8科目合格36名	9.25 日本眼鏡関連団体協議会第72回幹事会	9月 西アフリカでエボラ出血熱感染が爆発的に拡大
10.29	理事会：ニューオーサカホテル／平成26年度上期事業・決算報告、代議員選挙実施、50周年記念事業などについて承認。また平成26年度PR事業、眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動き、組織活性化特別委員会などについて報告	10.21 第5回全国眼鏡青年交流会	9.19 iPhone6 発売
10.29	第9回組織活性化特別委員会／ピンタック作成・アンケート実施、セミナー実施計画、青年・女性会員の登用などを検討	10.27 眼鏡技術者国家資格推進機構第10回正副代表幹事会	9.27 御嶽山が噴火、死者57人、不明6人。火山災害の死者数としては戦後最悪
12.10	講師会／教育事業結果報告、次年度生涯教育・実技講習会テーマの検討	11.20 眼鏡技術者国家資格推進機構第7回幹事会、第3回通常総会	10.7 ノーベル物理学賞に青色LED開発の中村修二、赤崎勇、天野浩の3氏
12.19	第3回選挙管理委員会	11.20 日本眼鏡関連団体協議会第73回幹事会、第19回通常総会	10月 多数の中国船による小笠原の赤サンゴ密漁
			11.26 和紙がユネスコ無形文化遺産に登録
			12.14 第47回衆議院議員選挙 安倍政権継続
2015年			
2.4	第4回選挙管理委員会		
2.18～ 3.18	青年部・女性部主催のセミナー「顔型に合う似合うメガネの選び方」を実施、3会場で78名参加		
3.2	第5回選挙管理委員会		
3.4	理事会：ニューオーサカホテル／平成27年度事業・決算報告、教育事業、PR事業、50周年記念事業などについて承認。また27、28年度支部代議員選挙結果、眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動き、内閣府立入検査などについて報告		
3.4	第10回組織活性化特別委員会／青年部・女性部主催のセミナー実施、アンケートの集計結果、次年度の事業計画、支部での青年・女性の登用促進などを検討		
	各ブロック会議／7.2 東京・関東、7.8 東北、8.26 中国、8.28 東海、11.12 九州、11.26 北陸、2.18 近畿、2.25 四国、3.25 北海道		

「関連団体の動き」は、眼鏡光学出版株式会社に一部ご協力をいただきました。

理事会 報告

日時／平成27年5月13日(水)
午後2～4時
会場／新大阪ワシントンホテルプラザ
出席／理事総数25名中出席21名、
欠席4名。監事2名中出席2名



理事会風景



あいさつする津田会長

冒頭、津田会長は「今年発行の眼鏡データベース2014によると、2013年度の眼鏡一式の小売市場規模が4,099億円で対前年比+1.5%となったが、コンタクトレンズは14%の大幅減で、また度なしパソコンメガネは購買一巡による落ち込みが大きく、それらによりメガネの単価が上がった。上位100社の売上高は業界の約80%を占めるが、これが+2.6%となり、零細店にとっては苦しい状況が続いている。年間にメガネを買う人口は約1,800万人と横ばいで、45歳以上の購買者がその内の70%を超えており、いかに日本の社会が高齢化しているかが分かる。推進機構がこの春に出した眼科医への紹介状は学童に限っているが、実際には高齢者の人口が増えている中で学童だけの紹介状では不十分であり、新たな紹介状を当協会独自で作りたい。学童だけではなく、ほかの年代についてもメガネによる矯正視力が不十分な場合やそのほかを含め、眼鏡業界としては眼科医への紹介を促進する体制を取ろうとしているという姿勢を示す意味でも、当協会が率先して作りたいと考えている。ご理解とご協力をお願いしたい。本日は6月の総会、創立50周年記念式典の内容も含んでの議題となるので、最後まで慎重審議をお願いします」とした。

【審議事項】

議題1. 第5回通常総会および50周年記念式典の開催について

①第5回通常総会のご案内・議題・記念式典・講演会

鈴木総務副部長より、当日配布資料に基づき、第5回通常総会および50周年記念式典のご案内・議題・講演会の内容について説明した。感謝状を贈る方々は、理事・監事・支部長・代議員を6期12年以上務めた70歳以上の現会員で、40周年での表彰者と現役執行部を除く方々の21名と、教育事業にご尽力いただいた講師の方々10名とするとの報告あり。また杉本理事より記念講演会の講師について、「講師の田中真澄氏は致知出版社主催の講演会をよくされているが、私は『志を伝承する』というテーマの講演を聞いた。私達も商売を継承しているという立場なので非常に共感する部分も多かったし、論理的でありながら人情味のあるお話を聞いた。今回50周年での講演を打診したら快く引き受けていただいた」と紹介があった。

②平成26年度事業報告および収支決算、監査報告について

鈴木総務副部長より事前送付資料に基づいて平成26年度事業報告を、中島財務部長より当日差し替え資料に基づいて平成26年度決算報告、岡野監事より監査報告を行った。議長は、第5回通常総会および50周年記念式典のご案内・議題・講演会、平成26年度事業報告および収支決算の全般について、意見、質疑を求めたが特になく、第5回通常総会および50周年記念式典の開催と平成26年度事業報告、収支決算を全員の拍手で承認した。



欠席の豊福部長に代わり説明する鈴木総務副部長



説明する杉本女性部長



説明する中島財務部長



【報告事項】



報告する岡本代表幹事
代行

(1) 眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動き

岡本理事（推進機構代表幹事代行）が、口頭で以下の通り報告した。

前回3月4日の理事会以降に出席した政治活動および6月までの政治活動予定を報告。また、関連団体との会合、正副代表幹事会、幹事会の開催などについて報告。幹事会の内容は推進機構ニュースの中に詳しく書かれており、技術者協会会員には全員にニュースを配布しているので、ぜひよく見ておいてほしい。

(2) 組織活性化特別委員会報告

資料に基づき、昨年度の講習会の実績を報告。昨年度は東京、愛知、大阪の3地区のみで講習会を実施したが、ほかの地区でこういうテーマの講習会の需要があれば、たとえばブロック会議開催日に合わせて吉野紀子理事が講師となってカラーコーディネートの講習会を実施することも可能なので、要望があれば相談してほしい。協会員ならびに認定眼鏡士であるということの認知と、本人の自覚を促すピンタックを作製したいと考えている。費用は3,000～4,000円で頒布する。

ブロック会議自体を各支部長間の意見交換の場だけではなく、青年層・女性層の意見交換、意見反映の場としても、各支部・ブロックの活動を活性化していただきたい。



報告する平岩組織活性化
特別委員長

(3) 「認定眼鏡士」の登録商標について

鈴木総務副部長より、当日配布資料に基づき報告。メガネストアを運営する（株）アイ・トピアに対して、「社内認定眼鏡士」や「眼鏡技能士」「社内認定眼鏡技能士」といった「認定眼鏡士」と類似する名前の使用に対して、5月1日付けで警告状を発送した。



説明する辻広報部長

(4) 広報部報告

4月号より会報をA4版に一新したが、今後ともさらに改善に努力していく。9月号は増ページ（従来16ページを40ページに）の50周年の特集号とする。

認定眼鏡士PR事業については、視力めやす表とリーフレット、メガネ拭きの3点セット5部詰めは6月始めの教育特集号に併せて発送する予定。支部としての活用についても在庫を持って対応する。また、まだ案の段階であるが、ミニカレンダーの作成を企画しており、10月のイベントに間に合うように進めていく。

眼科医への紹介状（改訂版）についても、当協会としての発行を計画している。



ブロック会議について
意見を求める小野理事

(5) その他

①会員数ならびに認定眼鏡士登録者数／会員数 5,945 名、認定眼鏡士登録者 7,226 名（平成27年4月末現在）

②今後の会議日程／鈴木総務副部長より、①、②について当日配付資料に基づき、それぞれ報告した。

③その他：ブロック会議の運営について／神奈川県で初めてブロック会議を開催するがノウハウがないので教えてほしい。（意見：出席した支部長とブロック長の人数に合わせたブロック会議費を本部からブロックにお渡しするが、その運営についてはブロックによって様々。また昨年度より開かれたブロック会議とすべく、ブロック会議に出席した青年・女性層に対しても交通費の補助を行っているが、まだあまり参加は多くない。意見：ブロック間の情報交換促進のためにも、ブロック会議議事録の様式を統一した方がよい）



日本眼鏡学会 第19回年次セミナー

ワールドオプティカルカレッジを会場に岡山県支部と共催

メインテーマは「一人ひとりに合わせるメガネ」

5月21日、日本眼鏡学会（畑田豊彦理事長）は、当協会岡山県支部（辻戦三岡山県支部長）との共催で第19回年次セミナーを岡山市の専門学校ワールドオプティカルカレッジで開催。大会長は金子弘日本眼鏡学会理事・同校校長で約190人が熱心に聴講した。セミナーは眼鏡技術者、オプトメトリスト、視能訓練士、教育関係者、眼鏡関連メーカー、眼科医など幅広い分野の関係者が集い、意欲的な討論の場となった。

午前是一般口演、昼には機械メーカーによるランチョンセミナーを実施。午後は特別講演のほか、「ビデオ計測システムの活用事例」でシンポジウムを開催。開会にあたり金子弘大会長は「セミナーのメインテーマは『一人ひとりに合わせるメガネ』。他分野のさまざまな発表、機械展示に触れていただき、大いにディスカッションをして交流を深めてほしい」と歓迎のあいさつを述べた。続いて、橋本岳衆議院議員（厚生労働大臣政務官）から「皆様方の日頃よりのご努力に深く敬意を表する」との祝電が披露された。

第1部研究発表は、亀井正美日本眼鏡学会理事、林光久日本眼鏡学会理事を座長に、「ビデオ型各種パラメータ測定器の考察」、「正面より側方が見やすい累進眼鏡の事例」などの演題で、眼鏡学校や視能訓練士らによる9題の口演が行なわれた。ランチョンセミナーはトプコン、ニデックから最新の測定システムや収差計の眼鏡処方への応用で発表があった。セミナー会場に隣接するホールには学術的なプレゼンテーションの場として会員メーカー12社・13題のポスター展示と機械展示・実演コーナーが設けられ、随所で活発な討論が行われた。

第2部は、金子日本眼鏡学会理事を座長に「眼鏡レンズによる近視進行予防の試み」のテーマで川崎医科大学眼科学2教授の長谷部聡氏が特別講演を行なった。長谷部氏は、近視進行や眼軸長の伸張が著しい学童期において、それらを予防または抑制する観点から累進屈折力レンズを応用した近視トライアルを実施、その結果について詳説した。

第3部は、木方伸一郎日本眼鏡学会副理事長、川端秀仁かわばた眼科院長をコーディネーターにシンポジウムを開催した。最近注目されているビデオ計測システムを中心に、装用者一人ひとりにレンズを合わせるための工夫やフィッティングの大切さについて議論を深めた。

冒頭、木方日本眼鏡学会副理事長は「眼鏡学会では昨年の年次セミナーでメーカーによるビデオ計測システムの報告をもとにしたシンポジウムを開催したが、今回は現場の活用事例をテーマに据えた。10月の学会オープンセミナーでは最新の累進レンズのフィッティングをテーマにセミナーを開く。最終的には『累進眼鏡フィッティングのガイドライン』を学会の眼鏡調製・機器研究部会でまとめた」とあいさつを述べた。続いて、店頭でのビデオ計測システムの活用事例についてシンポジストから紹介があった。大吉健氏（HOYA 青山ビジョンセンター）、中村宏昭氏（KPD ソリューションズ）、山本慎氏（イワキメガネ青葉台店）が店頭で使用しているビデオ計測システムの成功事例や失敗事例を含めて使用上のポイント、注意点などを説明。大嶽泰久氏（HOYA 榎ビジョンケア部門）はフィッティングがずれたときの問題点を解説した。一方、辻一央氏（ナルホ堂）はビデオ計測システムを使わずに累進レンズを合わせている眼鏡店の事例を、ミラー法による累進レンズフィッティングについて説明をまじえて詳しく紹介した。

最後に川端氏が登壇し「ビデオ計測システムが多々開発され店舗でも利用できるようになっており、眼鏡調製において有用な情報を提供するがそれは一面の情報であり、その限界や問題点を理解しておくことが大切である。良い眼鏡を提供するためには、ビデオ計測システムがもたらす情報を有効に活用するとともに、眼鏡装用者の主訴や視行動に良く配慮した調整が必要である」とのコメントを寄せた。その後討論に入り、フロアからも活発な質疑が寄せられた。質疑応答後、木方日本眼鏡学会副理事長が「フィッティングが標準化されており、眼鏡技術者全体のレベルを向上させる必要がある。秋のオープンセミナーで引き続き議論を深めたい」とし、シンポジウムを締めくくった。



あいさつする金子弘大会長(上)と会場

「ライフスタイルと生活環境を 評価する視力測定」

6月3日・4日の2日間にわたって、東京と大阪で「TOC ケッチャム特別セミナー」が開催され、大勢の方が受講されました。

主催：東京眼鏡専門学校、後援：(公社)日本眼鏡技術者協会、日本眼鏡学会、日本眼鏡技術専門学校、ワールドオプティカルカレッジ。



講演者のジョン・H・ニシモト教授 (左) と東京眼鏡専門学校の林光久氏

東京

6月3日、渋谷のSYD ホールにて開催され、160名を超える受講者が参加しました。

この特別セミナーは2014年4月に東京眼鏡専門学校と米国マーシャルBケッチャム大学との間に業務提携が結ばれたことにちなんで開催されました。提携内容としては、将来的には東京眼鏡専門学校を含む眼鏡学校卒業生が、ケッチャム大学と東京眼鏡専門学校が協力して提供する全日制的カリキュラム(1年間の予定)を修了すると、ケッチャム大学が発行する学位(Bachelor of Science in Optometry = オプトメトリー学士)を取得できるようにするという計画です。実は、この学士プログラムに先行して、来年4月から業界ですでに業務に従事している眼鏡士の方々に向けて、同じくケッチャム大学の協力の下で行う2年制の通信教育のプランを進めています。プログラムの詳細については、近日中に発表します。

今回のセミナータイトルは「ライフスタイルと生活環境を評価する視力測定」。業務提携に関連する話し合いで直接担当をしている、ケッチャム大学のジョンHニシモト教授によって講演されました。講演の内容は、眼鏡技術者が顧客のライフスタイルや作業環境、趣味などに合った眼鏡を提供するための、様々な検査・測定法についてでした。ブルーライトや、最近のビデオ計測システムについても言及され、幅広い内容の講演でした。(林光久 東京眼鏡専門学校 講師)



東京会場 (渋谷・SYD ホール)

大阪

6月4日、大阪ハービス会議室において東京眼鏡専門学校主催のTOCケッチャム特別セミナーが行われました。マーシャルBケッチャム大学副学長兼教授であるDr. ジョン・H・ニシモト氏からの講義ですが、東京眼鏡専門学校の林先生による通訳で進められました。

講義のテーマは「ライフスタイルと生活環境を評価する視力(視機能)測定」で、最初はカバーテスト、眼球運動、屈折測定、両眼視機能測定、加入度の測定、アイポイント計測などについて詳しく話があり、なかでもお客様が来店された主訴を詳しく聞く問診の重要性が話されました。我々が日々お客様と接しているときに、この最初の問診を省略することが多々ありますが、それではお客様の眼の問題部分がわからなくなってしまうということです。

講義の後半には様々な症例が提示され、それにあったレンズ選択が質問形式でだされました。

基礎的な部分が多い講義でしたが、なるほどと考えさせられる講義だと感じました。今回は通訳を介しての講義なので倍の時間を要しました。英会話が理解できれば同じ時間の講義でももっと内容が深く聞けたのではないかと、改めて英会話をしっかり勉強しておけばと反省してしまいました。(亀井正美大阪府支部長)



大阪会場 (ハービス会議室)

第 19 回 日本眼鏡学会オープンセミナー

■開催日：2015 年 10 月 7 日(水)

■会 場：TFTビル東館 9F (906 号) 東京都江東区有明 3 - 6 - 11

■時 間：午後 1 時 30 分～午後 5 時 00 分

■受講料：一般受講者は 5,000 円。日本眼鏡学会会員は無料 (正会員 1 名、賛助会員は 3 名まで)。

※当セミナーは、(公社)日本眼鏡技術者協会の生涯教育認定講習会となっております。取得単位は 1 単位です。同協会の受講証の発行を希望する受講者は、当日セミナー終了後にお渡しいたします。

■プログラム

メインテーマ「最新累進眼鏡のフィッティング」

▼ 13 : 30 ~ 13 : 55

「累進眼鏡フィッティングのガイドラインをめざして」 日本眼鏡学会 眼鏡調製・機器研究部会長 木方 伸一郎

▼ 13 : 55 ~ 14 : 45

「レンズメーカーからみた累進眼鏡フィッティング」 日本眼鏡学会 眼鏡学ジャーナル 編集委員長

眼鏡レンズ研究部会幹事 森 峰生

▼ 14 : 45 ~ 15 : 35

「正しい累進眼鏡フィッティングとは」

日本眼鏡技術専門学校 講師 吉野 勝

▼ 15 : 45 ~ 16 : 45

パネルディスカッション「顔の左右差や、視線のくせがある場合の対処法」

▼ 16 : 45 閉会のあいさつ

日本眼鏡学会理事長 畑田 豊彦

※演題発表の時間は多少前後する可能性があります。

※セミナーに関するお問い合わせ、お申し込みは下記まで。

日本眼鏡学会事務局 電話 03-5818-1051 FAX03-5818-1870 Eメール= office@jaoos.com

(日本眼鏡学会事務局：FAX 03-5818-1870)

年 月 日

日本眼鏡学会御中

日本眼鏡学会主催

第 19 回オープンセミナー受講申込書 (一般用)

平成 27 年 10 月 7 日のオープンセミナーを受講したく、下記の如く申し込みます。

貴社(店)名： _____ 受講者名： _____

ハガキ送付先ご住所：〒 _____

電話番号： _____

●この年次セミナーは、(公社)日本眼鏡技術者協会の生涯教育認定講習(1単位)に指定されています。

●(公社)日本眼鏡技術者協会の認定講習として受講される方は以下もご記入ください。

(公社)日本眼鏡技術者協会会員No. _____

または 認定眼鏡士登録No. _____

※この用紙に記入後、FAXで事務局までお申し込み下さい。複数のご参加の場合は、お手数でもコピーしていただき、ご返信下さい。折り返し、受講ハガキをご返送しますので、セミナー当日にご持参下さい。

IOFT併催イベント 講習会

- 日 時 2014年10月6日(火)～7日(水) (IOFT開催期間中)
■会 場 東京ビッグサイト
■主 催 リードエグジビションジャパン(株)／(一社)福井県眼鏡協会

■講習 1 「眼鏡 DB2015」から学ぶ ～どうなる眼鏡業界、どうするメガネ店～

中小メガネ店の“限界企業化”が進み、二極化が鮮明になってきた。淘汰されないためにはイノベーションが必要になる。中・長期的戦略キーワードは「共生」。明日の売上を上げる戦略キーワードは「第3レベルマーケティング」である。それらのキーワードを基に新しい価値を創造することだ。業界の変化と対策を述べる。

日時／10月6日(火) 10:30～12:00 (90分、受講単位は0.5)

講師／村松美尚氏 (ハップ研究所 代表)

■講習 2 「インディビジュアルレンズ時代到来」

お客様が100%納得する必須テクニックと新次元の眼鏡店が備えるべき事

眼鏡店の生き残りはインディビジュアルレンズの販促成果にかかっているといわれる。こうしたレンズの特性を十分に活かす為には、従来の考え方を抜本的に見直す必要性に迫られる。収差計を用いたシミュレーションシステムやレイアウト設計のデジタル化を如何に自社に取り込み応用するかが成否を分けるであろう。

日時／10月6日(火) 12:30～14:00 (90分、受講単位は0.5)

講師／内田豪氏 (めがね技術コンサルタント)

■講習 3 他店と差がつく！キッズビジョンとビジョントレーニングII ～子供メガネから家族顧客をゲット～

子どもだからといって遠見視力が良ければ近見視力が良いとは限りません。屈折・視機能、共に遠見と近見をしっかりと確認しメガネ矯正だけでは足りないところはしっかりとビジョントレーニング(眼の使い方)指導をすることで専門性をアピールでき、ユーザーにメガネ製作には時間とお金がかかる事を啓蒙できる。今回は感覚統合までお話しします。

日時／10月6日(火) 14:30～16:00 (90分、受講単位は0.5)

講師／井上敬康氏 (Joy Vision Aichi (有)井上メガネの井上 代表取締役)

■講習 4 ～はじめてのフィッティング・入門編～ 初心者歓迎！新人スタッフ歓迎！女性大歓迎！

フィッティングを初めて学ぼうと思った時に、なかなかお手本が見当たりません。フィッティングの完成形を見ながら、それを目標に技術の練習をしていけば、無駄なく迷わずに、技術が上達できます。キャリアの長いベテランよりも、くせの無い、フィッティングの初学者に是非参加していただきたいと思えます。

日時／10月7日(水) 9:30～12:30 (3時間、受講単位は1)

講師／横田進氏 ((株)さいたま眼鏡技術研究所 代表取締役社長)

■受講料・単位 ①受講時間3時間 (1単位) / 1人7,000円 ((公社)日本眼鏡技術者協会会員)

※教材費ほかを含む。10月2日0:00以降の申込みは1人8,000円

※会員外で認定講習会として受講の場合は、上記受講料に6,000円加算

②受講時間90分 (0.5単位) / 1人4,000円 ((公社)日本眼鏡技術者協会会員)

※教材費ほかを含む。10月2日0:00以降の申込みは1人5,000円

※会員外で認定講習会として受講の場合は、上記受講料に2,500円加算

■申込方法 同封の「IOFT招待状」をご覧ください

※このほかのIOFT講習会を受講されても、認定眼鏡士の更新のための単位にはなりません。

ISO 国際会議 (中国・上海)

国際部 林 光久

2015年5月11～15日、国際標準化機構（ISO）の国際会議が中国の上海で開催されました。ISOのTC172 専門委員会・SC7 分科会委員会（眼鏡光学および関連機器の専門委員会）の合同国際会議でした。



全体会議の直後撮影された集合写真

今回の会議は上海中心部から西に少し離れたところにある長風公園の隣のマリオット・ホテルで行われました。

上海は、最近、産業の発展に伴い大気汚染が深刻な問題で、街中では人々はみなマスクを装着して生活しているようなイメージを持っていましたが、実際には数えるほどしか見かけませんでした。ただ、街中を歩いている時や帰りの空港に向かうタクシーの中で、若干息苦しい感じがしたのは気のせいだったのでしょうか。

参加者は世界13カ国から100人余。オーストラリア、ベルギー、中国、フランス、ドイツ、イタリア、オランダ、サウジアラビア、スウェーデン、スイス、イギリス、アメリカ、そして日本からは17人が参加しました。

SC7には、光学機器、眼鏡フレーム、眼科インプラント、コンタクトレンズなどの部門が含まれ、各作業部会（Working Group = WG）に分かれて規格に関する審議が行われていますが、今回は1年半ごとに行われるそれらWGの合同会議でした。眼鏡レンズに関する作業部会（WG3）には、WG3国内委員会を代表して委員長 川合忠章氏、畑中隆氏（HOYA株式会社ビジョンケアカンパニー）と私・林が出席しました。

フリーフォーム技術に関する技術報告書（Technical Report）PG TR 18476 / このプロジェクトの審議は全体会議に先行して初日に開催。昨年6月のロンドンでの中間会議で、カールツァイス・ビジョン USA のダリル・マイスター氏のフリーフォームに関する論文を取り入れることになっていました。氏が急逝したために交渉は一時中断したのですが、現在は同社の確認とISOの上層部の承認を得て正式に取り入れられます。今回の上海会議の結果、フリーフォーム技術に関する技術報告書は技術報告書原案としてまとめられ、来年早々に回覧・国際投票されることになります。

全体会議（Plenary Session） / これまで各WGのリーダー（convenor）の任期は9年までとされてきましたが、2014年から1期は最大3年で任期務めるかについては無期限となったことがアナウンスされました。数々の項目について、期限の短縮や省略についてのアナウンスがありました。たとえば、予備業務項目（Preliminary Work Item = PWI）は3年でプログラムから削除される。新業務項目提案（New Work Item Proposal = NWIP）は2か月で投票に掛けられる。また、委員会原案（Committee Draft = CD）は2か月で出されるのが標準でしたが、任意になりました。国際規格原案（Draft International Standard = DIS）が承認されれば国際規格の発行が可能となり、最終国際規格原案（Final Draft International standard = FDIS）の段階は通常省略されることになりました。

また、規格の見直し（Systematic Review）については、その時点で5か国以上において採択ないしは使用されていて、正式メンバー（P-member）の過半数の賛成により更新されることになりました。さらに、P-memberが正規に要求された国際投票を実施しなかった場合には、ISOのCEOが投票の義務に関して注意をし、それでも投票がなされない場合には、その国代表をP-memberから傍観者メンバー（O-members）に格下げとなることもアナウンスされました。ただし、資格変更後一年を経過し、ISOのCEOに復活の要望をすれば復活は認められます。

今回WG3作業部会で討議された項目

1. 眼鏡レンズ（ISO 8980-1&2, 21987） / 上海会議では、枠入れ眼鏡（21987）の規格に対する各国のコメントの審議に終始。ここで決まったことが、それぞれ単体のレンズに対する規格（8980-1&2）にも当てはめられるという考えのもと審議は進められました。7月中旬には、委員会原案（CD）として国際投票にかけられる予定です。
2. 眼鏡レンズの用語（ISO 13666） / 2012年に一応、形式的には発行されたのですが、その後すぐに新たな審議に入り、現在に至っています。7月末までには新たな作業原案（Working Draft = WD）として、

また8月中旬までには委員会原案(CD)になる予定です。

3. セミフィニッシュレンズブランク (ISO 10322-1&2) / セミフィニッシュレンズブランクとは、一面だけを光学的に仕上げたレンズブランクです。いわゆる B to B (メーカー間のやりとりに必要な) 規格で、実際に眼鏡店の現場に出てくるより前の状態の製品に関する規格です。6月中には FDIS の形で提示される予定です。
4. 眼鏡レンズ 耐擦傷性 技術報告書 (TR 19497) / ISO の審議の流れの中では珍しく、本部から技術報告書として出版することを拒否するとの連絡を受けてしまいました。理由としては、本 TR がかなり歴史的記述に偏っていること、また、民間の会社名などが多く記載されているということでした。今後、WG としては何とか TR として出版するべく本部に働きかけることになっています。
5. 短波長可視光 (TR SWV) / これまでまとめてきた文書の中はかなり紫外線に関する記述があったのですが、短波長可視光に関する技術報告書なので、それらはすべて削除されることになりました。

今回の SC7 国際会議でもうひとつ特記すべきことは、日本からの提言があり、長らく2本立てになっていた e 線と d 線の2つの基準波長に関して、統一への一つの進展の可能性がでてきたということです。もちろん、すぐに解決する問題ではありません。ここは Ad Hoc グループを結成し、アメリカ、オーストラリア、日本のメンバーで審議を進めていくことになりました。

今後の ISO TC172 / SC7 の会議の開催は、各ワーキンググループの中間会議を経て、2016年10月24～28日にはオーストラリアのシドニーで合同の国際会議が開催される予定です。

消費者からの眼鏡相談

消費者の方からのご相談・お問い合わせについては、各地域の消費生活センターなどを通じて受け、当協会消費者委員会(亀井正美委員長)から同センターに回答しています。

相談内容

生駒市消費生活センター (4月16日、当協会へ相談のご連絡)

50代女性で3月20日に購入。老眼鏡(中近用)。メタルの細い卵型フレーム(レンズの最大幅3.5cm)でレンズはHOYA製。

購入した老眼鏡で細かい字が見えにくい。見たいところ(文字など)とフレームが重なって見えにくい(見えない)。眼鏡店に2回ほど申し出たが解決しない。返品などは考えていないが見えるようにしてほしい。

・眼鏡を使用することは全く初めてである ・眼鏡店に出向き「老眼鏡がほしい」というと3万円台(3種類)と2万円台(数種類)のフレームから選ぶように言われ3万円台から選んだ。レンズも3種類から選ぶよう言われ「老眼が変化するか」と思い3種類の中では安価なレンズを選んだ ・眼鏡店で視力検査をして作った ・相談者が眼鏡店に「フレームと重なり見えない」と申し出ると「眼鏡をもう少し顔に近づけるように」と回答。

回答

お申し出の内容から、見たい距離に眼鏡度数が合っているかどうかは確認できません。しかし、眼鏡店の「メガネをもう少し顔に近づけるように」との言葉から、その眼鏡店がおお客様の顔に合ったフィッティングをされていないように思います。

中近用ということなので中近対応の累進レンズだと思います。累進レンズはフレームのフィッティングがうまくできていないと、とても見にくいレンズになります。そのため累進レンズを使う場合は、加工前にフィッティングをじっくりとしなければいけません。レンズと眼との距離。フレームのレンズがあるフロント部分の temple との角度。フロントのそり。それらをお客様がメガネを使って見るべき位置にレンズの光軸ができるだけ近づくように調整します。そして、加工後のフィッティングも重要で、加工後にお客様がメガネを掛けて、眼の位置とレンズの玉型の位置などが正しくなっているか再び微調整をします。

このようなフィッティングがされていないように思います。普通に掛けた場合でメガネが顔から離れているのはおかしいと思います。再度、お買いあげの眼鏡店で正しいフィッティングをしてもらってください。それでも見え方がおかしいようなら、度数決定の問題もあるかもしれません。もし、お買いあげの眼鏡店で正しいフィッティングができないようであれば、調整費用が必要かもしれませんが、認定眼鏡士のお店で調整してもらってください。

私たち(公社)日本眼鏡技術者協会 認定眼鏡士は、3年間に3回の講習会受講義務が課せられています。その講習会にはフィッティング技術講習なども含まれ、快適なメガネを提供するために勉強しております。

ブロック会議

中国

4月7日にホテルグランヴィア岡山で開催。辻ブロック長以下各支部の代表、本部からは片山副会長以下2名、合計7名が出席。辻ブロック長は、川崎医療福祉大学の田淵先生から聞いた視能訓練士の実態など、また片山副会長は、法制化の状況報告や本部関連の各種活動、神奈川県支部や東京都支部の活動などについて報告した。議事では、横山支部長からの青年・女性部の活動報告や、辻ブロック長から認定眼鏡士制度の普及啓蒙活動のほか、各支部の活動、本部事務局からは支部決算処理方法についてなどの報告があった。

また、ブロック会議に引き続き、オープン間もない「イオンモール岡山」の見学会を実施し、コンセプトの違う眼鏡店4店舗を視察した。(中国ブロック会議風景)



東京・関東

6月24日に横浜市のヨコハマプラザホテルで開かれた。出席は、片山・豊福ブロック長以下各支部の代表、青年・女性部として2名、本部から塚田事務局長の計16名。片山東京ブロック長は、創立50周年記念式典の報告、また支部行事でのリーフレット・視力めやす表の活用を呼びかけた。豊福関東ブロック長は、50周年記念式典での田中真澄氏の記念講演会と、大手チェーンでの「社内認定眼鏡技能士」の名称使用差し止めについて報告した。議事は、各支部の活動報告、生涯教育の確認、本部からは支部予算の確実な実行についての報告があった。そのほか、眼科医への紹介状やSSS級について、生涯教育の進め方などについて議論。また、次年度以降のブロック会議開催場所は、総会が東京開催の年は東京で、大阪開催の年はブロック内の各支部を巡回していくこととした。(東京・関東ブロック会議風景)



東北

7月14日に仙台市のホテルメトロポリタンで開かれ、相澤ブロック長および各支部から8名、本部からは塚田事務局長の合計10名が出席した。議事では、①東北ブロック長の改選は、相澤ブロック長が平成27・28年度ブロック長として重任、②眼鏡技術者国家資格推進機構の最近の動向について相澤ブロック長から詳細報告③日本眼鏡士連盟の最近の動向については塚田事務局長から報告④平成27年度のPR活動について⑤本部からは支部予算の確実な実行のお願い⑥平成27年度教育事業について。そのほか、ブロック会議の開催地の持ち回り案について議論があったが、交通インフラや事務局としての運営の利便性の観点などから今後とも仙台で開催していくこととなった。(東北ブロック会議風景)



組織活性化特別委員会

8月12日、午後3時から名古屋市の安楽ホールで委員会を開催した。出席は6名。

議事では、青年部向けセミナー開催について、「ファッション理論と感性テスト」といった内容で、講師および詳細について協議した。会場は、東京（11月）・名古屋（2月）・大阪（2月）で調整していく。続いて、会員用ピンタック作製について眼鏡技術者として相応しいものにしてほしいとしてチタン端材の活用などを視野に検討を続けている。このほか50周年記念講演会の総括、ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)の利用者拡大と今後の活用および青年部SNSのオフ会について(10月21日水曜日、大阪で開催予定)、さらにブロック会議の活性化などについて報告や検討を行った。横山副委員長記(組織活性化委員会の会議風景)



2016年のミニカレンダーを同封しました



認定眼鏡士の皆様には今号と一緒に2016年ミニカレンダー(10冊)をお届けいたしました。

ミニカレンダーは、2カ月ごとの構成で、六曜の記載もあり、各ページの上部には女性モデルの写真や風景を入れています。また、最後の2ページには「視野の自己チェックチャート」「近くのめやす表」(文字サンプル)があり、一般の方が目のチェックのめやすにしていただけるようになっています。

10月1日のメガネの日などにどうぞご活用ください。



サイズは、幅 11.5cm × 見開き時の高さ 45.5cm

訃報 大久昌巳氏(前北海道支部長)は7月3日逝去。85歳。大久氏は、平成6年から21年まで北海道支部長として当協会の運営にご尽力いただきました。心よりご冥福をお祈りいたします。

編集後記

会報誌・創立50周年記念特集号は、9月秋号として無事発行することができました。

ご祝辞ならびにご執筆等々、改めて多くの皆様方に支えられ、ご支援・ご協力をいただきましたことを、心からお礼申し上げます。有難うございました。

身のまわりのことを考えても、家族の健康、メガネ店経営の安定、超高齢化社会と後継者不足など、取り組むべき多くの課題が山積しています。このような状況のもとで、生きがいと喜びにあふれた人生を築くためには、どうしたらよいのでしょうか。

私たち一人ひとりが、日常の心づかいと行いを改善し、品性の向上に努めることこそ望ましい生き方を実現する基礎ではないでしょうか。

※空には夏の忘れ物

入道雲がわき立っていても
暑さも和らぎ名月の夜ともなれば
虫の音も美しく聞こえて
静かに秋が近づく(戦)